

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(241)(HP 収載)

#### —ギレリスのピアノリサイタル—

##### 1. 始めに

前報(240)に引き続き、STAGE+のギレリスのピアノリサイタルの演奏の試聴を実施します。

##### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のギレリスのピアノリサイタルの演奏を選びました。

エミール・ギレリス リサイタル

コンサート

オシアッハ修道院付属教会 1971 年

収録日: 1971 年 8 月 13 日

オーストリア南部ケルンテン州にあるオシアッハ湖畔の修道院付属教会などを主な会場として、1969 年より開催されている夏の音楽祭「ケルンテン（※英語ではカリシシア）の夏」からのこちらの映像は、もう 1 人の“巨人”リヒテルと共に 20 世紀ロシア・ピアノ界を代表するヴィルトゥオーゾ、エミール・ギレリスの全盛期（54 歳）の演奏を撮影した貴重なものです。ドイツ・グラモフォンへのデビュー盤となった 1970 年ザルツブルクの『モーツアルト・リサイタル』で披露したピアノ・ソナタ第 8 番イ短調やバイジェルロの主題による 6 つの変奏曲、幻想曲ニ短調、そして 1972 年より始まるギレリス最大の遺産「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ」シリーズの第 1 回収録曲であった第 21 番《ワルトシュタイン》など、“鋼鉄のタッチ”と謳われたその至芸を語る上で欠くことのできないラインナップを、この機会にぜひその目でご堪能ください。

ソリスト:

エミール・ギレリス（ピアノ）

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

ピアノ・ソナタ第 8 番イ短調 K. 310

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

バイジェルロの主題による 6 つの変奏曲 へ長調 K. 398

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 幻想曲ニ短調 K. 397

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ第 21 番ハ長調 op. 53 《ワルトシュタイン》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第28番イ長調 op. 101  
ロベルト・シューマン 夜の曲 op. 23 より第4曲：素朴に  
フェリックス・メンデルスゾーン 無言歌集 op. 67 より第4曲：紡ぎ歌



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、プログラムの前半は、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、後半は OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

モーツアルトのピアノ・ソナタ第8番は、お馴染みの曲です。

モーツアルトのパイジェルロの主題による6つの変奏曲は、初めて聴く曲です。

モーツアルトの幻想曲ニ短調は、これもお馴染みの曲です。

これら、ギレリスのモーツアルトは、美しい表情も漂わせますが、ギレリスらしい力強いピアニズムも見せています。

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第21番《ワルトシュタイン》とベートーヴェンのピアノ・ソナタ第28番は、お馴染みの曲です。ギレリスのベートーヴェン、特にワルトシュタインは“鋼鉄のタッチ”と言われるギレリスの面目躍如の演奏です。

シューマンの夜の曲 op. 23 より第4曲とメンデルスゾーンの無言歌集 op. 67 より第4曲は、初めて聴くものでアンコール曲のようです。前者は静かなしみじみとした曲、後者は速いパッセージの小品です。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、ギレリスらしい力強いタッチを伺いしることができました。

以上